

8 いまの病気(がん)の経済的負担について、特に希望するものを3つまで(その他を含む)選び○をつけて下さい。

- 1 もっと情報がほしい
- 2 気軽に相談できるところがほしい
- 3 自宅の近くに、がん専門病院があつてほしい
- 4 自己負担が多くなつても(保険適用外でも)、がん診療を続けたい
- 5 もし選べるなら、経済的負担の少ない治療(お薬)にしてもらいたい
- 6 がん診療の自己負担は、他の病気より軽くしてほしい
- 7 がん診療での特定療養費制度(室料差額など)の対象をひろげてもらいたい
- 8 高額療養費の限度額を引き下げてもらいたい
- 9 がん診療は全額公費負担にしてもらいたい
- 10 外国でがん診療を受けた場合も、公的保険を適用してもらいたい
- 11 民間保険の内容・給付額を充実してもらいたい
- 12 その他()

9 いまの病気(がん)の経済的な負担に関して、自由にご意見をお書き下さい。

10 ご自身について

10-1

年齢	歳	性別	男	女
----	---	----	---	---

10-2 いまの病気(がん)と診断されたのは

平成	年	月頃	あるいは	年前
----	---	----	------	----

10-3 がんと診断された時の部位を○で囲んで下さい。(複数の場合は陽子線治療中の部位)

食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆管	すい臓	頭蓋底・頸椎
肺	胸膜	乳房	子宮	卵巣	膀胱	腎臓	前立腺 精巣
血液	脳	いん頭	こゝ頭	舌	口腔	甲状腺	鼻・副鼻腔
眼球	骨	筋肉	リンパ腫	皮膚	その他()		

10-4 現在の治療状況について、1つに○をつけて下さい。

1 がんの治療中
2 がんの治療は終了し、検査などで通院中
3 その他()

記入日	平成	年	月	日
-----	----	---	---	---

ご協力、どうもありがとうございました。

がん診療の経済的な負担に関するアンケート調査

平成 17 年度 厚生労働科学研究費補助金
第 3 次対がん総合戦略研究事業
「がん医療経済と患者負担最小化に関する研究」

主任研究者:濃沼 信夫(東北大学教授)

分担研究者:小澤 敬也(自治医科大学教授)

<調査の趣旨>

このアンケートは、がん診療を受けておられる患者さんの経済的な負担を把握するためのものです。質が高く安全で、患者さんの経済的な負担ができるだけ少ない、優れたがん医療の実践に向けた基礎資料を得ることを目的としています。

<お願い>

このアンケートは、がん診療で病院を受診されている全国の患者さんを対象にしております。

日数や金額などをおたずねする項目では、過去の領収書などを参考にしながらお答え下さい。正確にわからない場合は、おおよそで結構です。

お名前を書いていただく必要はありません。ご回答は統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。

まことに恐れ入りますが、ご回答いただいた調査票は1週間程度で、ご返送下さい。返信用の封筒に切手はいりません。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1
東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野

伊藤道哉、丁 漢昇、金子さゆり、尾形倫明、中村利仁

TEL:022-717-8128 FAX:022-717-8130

1 通院・入院について

1-1 自宅から病院までの交通手段について、あてはまるものを○で囲んで下さい。

徒歩	自転車	電車	自家用車	飛行機
バス	新幹線	タクシー	その他()	

1-2 通院時間は片道どのくらいですか。

時間	分くらい
----	------

1-3 通院にかかる交通費(宿泊費を含む)は往復でいくらですか。

ご自身	円くらい	つきそいの方	円くらい
-----	------	--------	------

1-4 入院日数・通院回数はどのくらいですか。

	入院	通院
先月1ヶ月間	日くらい	回くらい
昨年1年間	日くらい	回くらい

2 いまの病気(がん)に関する支出について

2-1 病院や薬局で支払った保険診療分・自費分(差額ベッドなど)はいくらですか。

	入院分(円)		外来分(円)	
	保険診療	自費	保険診療	自費
先月				
2ヶ月前				
3ヶ月前				
4ヶ月前				
5ヶ月前				
6ヶ月前				
昨年1年間総計				

2-2 健康食品や民間療法などの支出額はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

2-3 その他の支出額(贈答費・かつら代など)はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

2-4 民間保険・簡易保険・県民共済などの保険料はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

3 いまの病気(がん)に関する給付について

3-1 高額療養費として、戻ってきた金額はいくらですか。

昨年1年間	円
-------	---

3-2 医療費還付として、戻ってきた税金はいくらですか。

昨年1年間	円
-------	---

3-3 民間保険・簡易保険・県民共済などから受け取った金額(入院給付金など)はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

4 いまの病気(がん)に関する高額自己負担について

4-1 これまで、医療費の自己負担額が最大の月の支払い金額はいくらですか。

最大	円
----	---

4-2 上記請求額に対して、どのように対応しましたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

- 1 高額療養費の受領委任払制度や貸付制度を利用した
- 2 医療費減免制度を利用した
- 3 民間保険からの給付金で支払った
- 4 貯金から支払った
- 5 家族・親戚から借りた
- 6 友人・知人から借りた
- 7 ローンを組んだ
- 8 分割払いにしてもらった
- 9 その他 ()

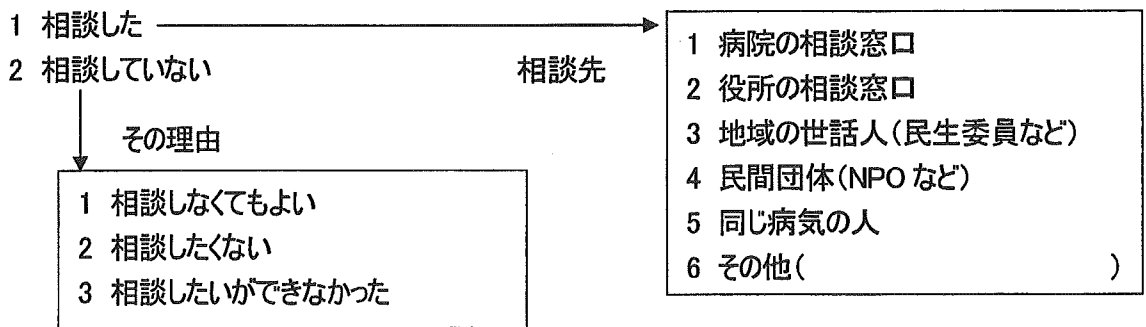
5 最近1年間に受けた治療すべてに○をつけて下さい。

- | | | |
|-------------|----------------------|------------------|
| 1 自家幹細胞移植 | 5 化学療法(抗がん剤など) | 7 放射線療法 |
| 2 同種幹細胞移植 | 6 分子標的治療 | 8 外科手術(内視鏡手術を含む) |
| 3 さい帯血幹細胞移植 | a 抗体薬(リツキサン、マイロターグ等) | 9 インターフェロン |
| 4 輸血 | b 低分子薬(グリバック、ベサノイド等) | 10 その他() |

6 いま受けている治療の経済的負担について、病院から説明がありましたか。

- 1 十分な説明を受けた
 - 2 説明を受けたがわからなかった
 - 3 説明はなかった
 - 4 覚えていない
- 説明した人を○で囲んで下さい。
- | | | |
|----|-----|-----------|
| 医師 | 看護師 | その他の職員() |
|----|-----|-----------|

7 いまの病気(がん)の経済的負担について、外部の人に相談しましたか。



8 経済的理由で、がん治療の選択に影響がありましたか。

- | | | | | | | |
|---|-----------|--|-----------|-----------|-----------|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 影響した 2 影響しない | <p>↓</p> | <table border="0"> <tr> <td>1 治療を変更した</td> <td>3 治療を中止した</td> </tr> <tr> <td>2 治療を延期した</td> <td>4 その他()</td> </tr> </table> | 1 治療を変更した | 3 治療を中止した | 2 治療を延期した | 4 その他() |
| 1 治療を変更した | 3 治療を中止した | | | | | |
| 2 治療を延期した | 4 その他() | | | | | |

その治療内容を記入して下さい。

影響前:

影響後:

9 いまの病気(がん)の経済的負担について、希望するものを3つまで(その他を含む)選び○をつけて下さい。

- 1 もっと情報がほしい
- 2 気軽に相談できるところがほしい
- 3 自宅の近くに、がん専門病院があつてほしい
- 4 自己負担が多くなつても(保険適用外でも)、がん診療を続けたい
- 5 もし選べるなら、経済的負担の少ない治療(お薬)にしてもらいたい
- 6 がん診療の自己負担は、他の病気より軽くしてほしい
- 7 がん診療での特定療養費制度(室料差額など)の対象をひろげてもらいたい。
- 8 高額療養費の限度額を引き下げてもらいたい
- 9 がん診療は全額公費負担にしてもらいたい
- 10 外国でがん診療を受けた場合も、公的保険を適用してもらいたい
- 11 民間保険の内容・給付額を充実してもらいたい
- 12 その他()

10 いまの病気(がん)の経済的な負担に関して、自由にご意見をお書き下さい。

11 ご自身について

11-1

年齢	歳	性別	男	女	居住地	都道府県
----	---	----	---	---	-----	------

11-2 いまの病気(がん)と診断されたのは

平成	年	月頃
----	---	----

 あるいは

年前

11-3 診断名

--

11-4 現在の治療状況について、1つに○をつけて下さい。

- 1 診断後初めての治療中(寛解導入療法中)
 - 2 診断後初めての治療中(地固め治療中)
 - 3 移植待機中
 - 4 移植後の定期検査中
 - 5 再発・再燃の治療中
 - 6 がんに対する治療は終了(完全寛解)し、検査などで通院中
 - 7 その他()

記入日

平成	年	月	日
----	---	---	---

ご協力、どうもありがとうございました。

がん診療の経済的な負担に関するアンケート調査

平成 17 年度 厚生労働科学研究費補助金 第 3 次対がん総合戦略研究事業

「がん医療経済と患者負担最小化に関する研究」

主任研究者: 濃沼 信夫(東北大学教授)

分担研究者: 廣中 秀一(静岡県立静岡がんセンター)

<調査の趣旨>

このアンケートは、がん診療を受けておられる患者さんの経済的な負担を把握するためのものです。質が高く安全で、患者さんの経済的な負担ができるだけ少ない、優れたがん医療の実践に向けた基礎資料を得ることを目的としています。

<お願い>

このアンケートは、がん診療で病院を受診されている全国の患者さんを対象にしております。日数や金額などをおたずねする項目では、過去の領収書などを参考にしながらお答え下さい。正確にわからない場合は、おおよそで結構です。また、回答が「0 円」の場合も記入欄に「0」と記載して下さい。ご本人が記載することが困難な場合は、御家族の方に記載をお願い致します。調査票および返信用封筒にお名前を書いていただく必要はありません。ご回答は統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。

まことに恐れ入りますが、ご回答いただいた調査票は1週間程度で、ご返送下さい。返信用の封筒に切手はいりません。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

倫理的事項

なお、本調査は個人的な質問が含まれているため、

- 1) 答えにくい質問には回答しなくても構いません
 - 2) プライバシーの保護および人権は守られています
 - 3) アンケート調査に参加しなくても不利益は被りません
- ので御安心下さい。

<お問い合わせ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野

伊藤道哉、丁 漢昇、金子さゆり、尾形倫明、中村利仁

TEL: 022-717-8128 FAX: 022-717-8130

1 通院・入院について(がん治療にて通院されている全ての病院についてお答え下さい)

1-1 自宅から病院までの交通手段について、あてはまるものを○で囲んで下さい。(複数可)

徒歩・自転車	電車	自家用車	飛行機
バス	新幹線	タクシー	その他()

1-2 通院時間は片道どのくらいですか。(複数の場合、合計)

時間	分くらい
----	------

1-3 通院にかかる交通費(宿泊費を含む)は、往復でいくらですか。(複数の場合、合計)

ご自身	円くらい	つきぞいの方	円くらい
-----	------	--------	------

1-4 入院日数・通院回数はどのくらいですか。(複数の場合、合計)

	入院	通院
先月1ヶ月間	日くらい	回くらい
昨年1年間	日くらい	回くらい

2 いまの病気(がん)に関する支出について

2-1 病院や薬局で支払った保険診療分・自費分(差額ベッドなど)はいくらですか。(複数の場合、合計)

別紙1を参照に、入院と外来費用を記入して下さい。

	入院分(円)		外来分(円)	
	保険診療	自費	保険診療	自費
先月				
2ヶ月前				
3ヶ月前				
4ヶ月前				
5ヶ月前				
6ヶ月前				
昨年1年間総計				

2-2 健康食品や民間療法などの支出額はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

2-2 その他の支出額(贈答費・かつら代など)はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

2-4 民間保険・簡易保険・県民共済などの保険料はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

3 いまの病気(がん)に関する給付について(複数の病院に通院の場合、合計を記載下さい)

3-1 高額療養費として、戻ってきた金額はいくらですか。

昨年1年間	円
-------	---

3-2 医療費還付として、戻ってきた税金はいくらですか。

昨年1年間	円
-------	---

3-3 民間保険・簡易保険・県民共済などから受け取った金額(入院給付金など)はいくらですか。

先月1ヶ月間	円	昨年1年間	円
--------	---	-------	---

4 いまの病気(がん)に関する高額自己負担について(複数の病院に通院の場合、合計を記載下さい)

4-1 これまでで、医療費の自己負担額が最大の月の支払い金額はいくらですか。

最大	円
----	---

4-2 上記請求額に対して、どのように対応しましたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

- 1 高額療養費の受領委任払制度や貸付制度を利用した
- 2 医療費減免制度を利用した
- 3 民間保険からの給付金で支払った
- 4 貯金から支払った
- 5 家族・親戚から借りた
- 6 友人・知人から借りた
- 7 ローンを組んだ
- 8 分割払いにしてもらった
- 9 その他 ()

5 いまの病気(がん)の経済的負担について、病院から説明がありましたか。○をつけて下さい。

- 1 十分な説明を受けた
 - 2 説明を受けたがわからなかった
 - 3 説明はなかった
 - 4 覚えていない
- 説明した人を○で囲んで下さい。
- | | | |
|----|-----|-----------|
| 医師 | 看護師 | その他の職員() |
|----|-----|-----------|

6 いまの病気(がん)の経済的負担について、外部の人に相談しましたか。

<ol style="list-style-type: none"> 1 相談した 2 相談していない 	<p>相談先</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院の相談窓口 2 役所の相談窓口 3 地域の世話人(民生委員など) 4 民間団体(NPO など) 5 同じ病気の人 6 その他()
<p style="text-align: center;">その理由</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 相談しなくてもよい 2 相談したくない 3 相談したいができなかった </div>		

7 経済的理由で、がん治療の選択に影響がありましたか。

- 1 影響した
- 2 影響しない

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 治療を変更した | 3 治療を中止した |
| 2 治療を延期した | 4 その他() |

その治療内容を記入して下さい。

影響前:

影響後:

8 いまの病気(がん)の経済的負担について、希望するものを3つまで(その他を含む)選び○をつけて下さい。

- 1 もっと情報がほしい
- 2 気軽に相談できるところがほしい
- 3 自宅の近くに、がん専門病院があってほしい
- 4 自己負担が多くなっても(保険適用外でも)、がん診療を続けたい
- 5 もし選べるなら、経済的負担の少ない治療(お薬)にしてもらいたい
- 6 がん診療の自己負担は、他の病気より軽くしてほしい
- 7 がん診療での特定療養費制度(室料差額など)の対象をひろげてもらいたい。
- 8 高額療養費の限度額を引き下げてもらいたい
- 9 がん診療は全額公費負担にしてもらいたい
- 10 外国でがん診療を受けた場合も、公的保険を適用してもらいたい
- 11 民間保険の内容・給付額を充実してもらいたい
- 12 その他()

9 いまの病気(がん)の経済的な負担に関して、自由にご意見をお書き下さい。

10 ご自身について

10-1

年齢	歳	性別	男	女	居住地	都道府県
----	---	----	---	---	-----	------

10-2 現在、当院にて治療中の病気(がん)が診断されたのはいつですか？(再発された方は再発と診断された時期)

平成	年	月頃	あるいは	年前
----	---	----	------	----

10-3 最初にごんと診断された時の部位に○をつけて下さい。また、現在治療されている部位に◎をつけて下さい。(複数治療されている場合はすべてにつけて下さい)。

食道	すい臓	脳	頭頸部	眼
胃	胆管	肺	乳房	骨
十二指腸	肝臓	口腔	リンパ腫	白血病
小腸		皮膚	腎臓	膀胱
結腸		卵巣	前立腺	精巣
直腸		子宮	その他()	

10-4 あなたが、最初にごんと診断されてから、現在まで受けられた治療のすべてに○をつけて下さい。

1 外科手術(内視鏡手術を含む)	4 放射線療法	7 リハビリテーション
2 薬物療法(抗がん剤など)	5 緩和ケア	8 ストーマケア(人工肛門など)
3 内分泌療法(ホルモン剤など)	6 在宅ケア	9 その他()

10-5 現在の治療状況について、1つに○をつけて下さい。

1 手術前の検査で通院中
2 がんに対する治療を継続中
3 がんに対する治療は終了し、検査やストーマ(人工肛門)管理などで通院中
4 その他()

記入日	平成	年	月	日
-----	----	---	---	---

ご協力、どうもありがとうございました。

治療法の番号

特定療養費制度

特定療養費制度は、健康保険法等の改正法により、それまで、診療の中に保険が適用されないものが含まれると原則としてその診療全体が保険給付外とされていたのを改めて、新しい医療技術の出現や患者のニーズに多様化等に対応し高度先進医療や特別のサービス等について保険給付との調整を図るために創設されたものです。特定療養費の基本的考え方は、特に定められた特別のサービス(アメニティ部分)や高度医療を含んだ療養については、療養全体にかかる費用のうち基礎的部分については保険給付をし、特別サービス部分を自費負担とすることによって患者の選択の幅を広げようとするものです。

特定療養費の種類は、現在、次の通りであり、実際の自費負担にあたってはそれぞれにルールが定められています。

1. 特別の療養環境の提供(特別室)
 2. 前歯部の金属材料の差額
 3. 金属床総義歯
 4. 200床以上の病院についての初診
 5. 200床以上の病院についての再診
 6. 予約診療
 7. 診療時間外の診療
 8. 治験に関する診療(*)
 9. うち患者の指導管理
 10. 薬事法に基づく承認を受けた医薬品の授与
 11. 入院期間が180日を超える入院
 12. 医薬品の適応外投与
 13. 高度先進医療
 14. 薬事承認後、保険収載前の医療機器に係る診療
 15. 一定の要件を満たした医療機関における先進医療
- (*)8については治験依頼者の負担

高額療養費

重い病気などで病院等に長期入院したり、治療が長引く場合には、医療費の自己負担額が高額となります。そのため家計の負担を軽減できるように、一定の金額(自己負担限度額)を超えた部分が払い戻される高額療養費制度があります。

ただし、特定療養費の差額部分や入院時食事療養費は支給対象にはなりません。

高額療養費貸付制度

医療費が高額だと、高額療養費が支給されるまでには数ヶ月がかかる為、一時的に自己負担が高くなります。この様に病院への支払いが困難な場合、高額療養費のおよそ8割を公的保険機関が無利子で貸し付け、支給される高額療養費で清算する制度。

高額療養費受領委任払制度

高額療養費の受領の権限を被保険者が医療機関に委任することにより、医療機関の窓口で自己負担限度額のみをお支払いいただき、高額療養費支給分を市が医療機関へ支払う制度です。ただし、この制度は、すべての医療機関で利用できるものではありません。また、利用は国民健康保険税の未納がない場合に限りです。

医療費減免制度

災害等により生活が著しく困難となる等特別の理由があると認められた場合には、申請により保険料(税)や一部負担金の減免や徴収の猶予を受けられる場合があります。

◎一般減免

災害その他特別の事情により、生計を維持することが著しく困難になったような場合、ご本人からの申請により、保険料が減額または免除される場合があります。

◎均等割額の軽減

前年中の所得が一定基準以下の世帯については、均等割額が7割または5割減額されます。この適用を受けるには、前年中の所得について、世帯主を含む加入者全員の所得が判明している必要があります。

別紙 1

2-1 の質問に関し、保険診療分・自費分（差額ベッドなど）の記載について説明します。

納入通知書兼領収書を見てください。

- ・ 保険診療分：「左記の自己負担額 A」の金額を記載して下さい。
- ・ 自費分：「自己負担額 B」 の金額を記載して下さい。

納入通知書兼領収書

年度 県立静岡がんセンター事業会計 静岡県東郡長泉町上丘俣1007番地
 患者番号 静岡県立静岡がんセンター事業管理者
 氏名 標 請求金額 通知年月日 通知番号 月 日

区分	基本診療料	投薬料	注射料	処置手術料	検査料	画像診断料
金額						
区分	その他料金	入院基本料			小計	左記の 自己負担額A
金額						
区分	三診差額	文書料	その他		消費税等	手数料等別科 料
金額						
区分	入院費等 その他	自己負担額 B	今回請求額 A+B+C+D			
金額						

上記金額を 年 月 日までに納めてください。

上記金額を領収いたしました。
 静岡県立静岡がんセンター 企業出納員
 静岡県立静岡がんセンター 出納取扱金融機関
 静岡県立静岡がんセンター 取納取扱金融機関

「保険診療分」に
記載して下さい

「自費分」に記載して下さい

がん診療の経済的な負担に関するアンケート調査

平成17年度 厚生労働科学研究費補助金
第3次対がん総合戦略研究事業
「がん医療経済と患者負担最小化に関する研究」

主任研究者： 濃沼 信夫 (東北大学)
分担・協力研究者： 江口 研二 (東海大学)
大住 省三 (四国がんセンター)
岡本 直幸 (神奈川県立がんセンター)
小澤 敬也 (自治医科大学)
河島 光彦 (国立がんセンター東病院)
斉藤 信也 (高知女子大学)
笹子 充 (国立がんセンター中央病院)
下妻晃二郎 (流通科学大学)
田中 憲一 (新潟大学)
中山 富雄 (大阪府立成人病センター)
西沢 理 (信州大学)
廣中 秀一 (静岡がんセンター)

<調査の趣旨>

このアンケートは、がん患者の経済的負担について、がん臨床医を対象として調査を実施し、質が高く安全で、患者の経済的な負担ができるだけ少ない、優れたがん医療の実践に向けた基礎資料を得ることを目的としています。

数値等については関係者の協力を得て記入して下さい。ご回答は個人情報保護法および疫学研究に関する倫理指針に従い、無記名で統計的に処理します。調査票は1週間程度でご返送下さい。まことに恐れ入りますが、よろしくお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1
東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野
伊藤道哉、丁 漢昇、金子さゆり、尾形倫明、中村利仁
TEL:022-717-8128 FAX:022-717-8130

1 最近、担当されたがん患者について

1-1 現在、担当している入院患者 人のうち、経済的な相談をした患者は 人。

主な相談内容	患者数	主に対応した人	患者数
高度先進医療	()人	医師	()人
選定療養(室料差額等)	()人	看護師	()人
分子標的治療	()人	薬剤師	()人
その他の高額な診療	()人	MSW	()人
その他の経済的問題	()人	事務職員・その他	()人

1-2 直近の1日に、担当した外来患者 人のうち、経済的な相談をした患者は 人。

主な相談内容	患者数	主に対応した人	患者数
高度先進医療	()人	医師	()人
分子標的治療	()人	看護師	()人
その他の高額な診療	()人	薬剤師	()人
その他の経済的問題	()人	MSW	()人
		事務職員・その他	()人

1-3 疾患の説明の際に、患者の経済的負担について説明していますか。

- | | | |
|-------------------------------------|-----------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 必ず説明している | } 主に説明する人 | <input type="checkbox"/> 医師 |
| <input type="checkbox"/> たいてい説明している | | <input type="checkbox"/> 看護師 |
| <input type="checkbox"/> あまり説明していない | | <input type="checkbox"/> 薬剤師 |
| <input type="checkbox"/> 全く説明していない | | <input type="checkbox"/> MSW |
| | | <input type="checkbox"/> 事務職員・その他 |

2 最近6ヶ月間におけるがん治療の変更について

2-1 主に経済的理由によって医師が提案した治療を変更した患者は何人ですか。

治療開始前 人、開始後 人

2-2 経済的理由以外(予期しない有害事象など)で治療を変更した患者は何人ですか。

治療開始前 人、開始後 人

5 ご自身について

5-1 臨床経験年数:約 年、性別: 男・女

5-2 主たるがんの診療領域(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 消化管(食道・胃・大腸) | <input type="checkbox"/> 脳 |
| <input type="checkbox"/> 肝・胆・膵 | <input type="checkbox"/> 眼部 |
| <input type="checkbox"/> 肺・胸膜 | <input type="checkbox"/> 骨・軟部 |
| <input type="checkbox"/> 乳腺 | <input type="checkbox"/> 皮膚 |
| <input type="checkbox"/> 内分泌 | <input type="checkbox"/> 血液・リンパ腫 |
| <input type="checkbox"/> 婦人科 | <input type="checkbox"/> 小児 |
| <input type="checkbox"/> 泌尿器科 | <input type="checkbox"/> その他() |
| <input type="checkbox"/> 頭頸部 | |

5-3 診療科

- 内科系
 外科系
 その他()

5-4 勤務形態

- 常勤
 非常勤 → ()日/週
 研修医

5-5 医療施設の種類(複数回答可)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 大学病院 | <input type="checkbox"/> 特定機能病院 |
| <input type="checkbox"/> 国・国立病院機構・労災病院 | <input type="checkbox"/> がんセンター(成人病センター) |
| <input type="checkbox"/> 自治体病院 | <input type="checkbox"/> 地域がん診療拠点病院 |
| <input type="checkbox"/> その他公的病院 | <input type="checkbox"/> DPC 導入病院 |
| <input type="checkbox"/> 社会保険関係団体 | <input type="checkbox"/> 日本医療機能評価機構認定病院 |
| <input type="checkbox"/> 医療法人・公益法人・個人病院など | <input type="checkbox"/> その他() |

6 がん診療の経済的な問題について、ご意見を自由にお書き下さい。

ご協力、どうもありがとうございました。

がん患者調査

全体 (4,174件中)

問番号	内容	すべての回答					"0"				"0"以外			
		件数	平均	中央値	標準偏差	最大値	最小値	回答件数	平均	中央値	標準偏差	回答件数	平均	中央値
Q1-2	片道の通院時間	4,081	58.81	50.	84.91	3,000	2							
Q1-3	往復交通費 - 本人	3,122	2,159.14	1,000.	4,592.40	75,000	0	189 (6.1%)	2,298.27	1,050.				4,704.19
	往復交通費 - つきそい	1,039	2,380.48	1,000.	5,851.57	80,000	0	185 (17.8%)	2,896.15	1,200.				6,337.58
Q1-4	1ヶ月間の通院回数	2,255	2.45	1.	3.31	30	0	8 (0.4%)	2,247 (99.6%)	2.46	1.			3.32
	1年間の通院回数	2,883	11.81	6.	14.72	200	0	2 (0.1%)	2,881 (99.9%)	11.81	6.			14.72
Q1-5	(頭を含む)これまで受診した病院・診療所の数	4,017	1.88	2.	1.03	24	0	85 (2.1%)	3,932 (97.9%)	1.92	2.			1.00
Q1-6	これまで入院した回数	4,007	1.96	1.	2.47	60	0	214 (5.3%)	3,793 (94.7%)	2.07	1.			2.49
Q1-7	昨年1年間の合計入院期間	3,410	21.57	5.	37.61	400	0	1,542 (45.2%)	1,868 (54.8%)	39.37	23.			43.38
Q4-1	入院分(月)	1,378	106,038.29	0.	267,921.72	5,000,000	0	774 (56.2%)	604 (43.8%)	241,921.78	150,000.			361,793.41
	外来分(月)	2,784	22,301.19	7,700.	96,188.13	4,500,000	0	417 (15.0%)	2,367 (85.0%)	26,230.04	10,000.			103,822.34
	入院分(年)	1,847	350,851.69	148,940.	588,274.52	6,500,000	0	567 (30.7%)	1,280 (69.3%)	506,268.03	300,000.			622,337.64
	外来分(年)	2,879	120,598.90	50,000.	228,613.02	4,200,000	0	196 (6.8%)	2,683 (93.2%)	129,408.96	54,520.			234,396.72
Q4-2	健康食品・民間療法(月)	2,426	17,687.25	5,000.	45,214.45	1,000,000	0	953 (39.3%)	1,473 (60.7%)	29,130.53	11,500.			55,078.55
	健康食品・民間療法(年)	2,594	129,091.75	29,000.	320,765.85	6,000,000	0	983 (37.9%)	1,611 (62.1%)	207,860.96	100,000.			386,393.01
Q4-3	その他の支出額(月)	1,772	17,043.94	0.	66,280.11	1,500,000	0	1,334 (75.3%)	438 (24.7%)	68,954.02	30,000.			119,136.05
	その他の支出額(年)	2,096	49,944.50	0.	119,407.80	1,300,000	0	1,264 (60.3%)	832 (39.7%)	125,821.71	70,000.			162,396.89
Q4-4	保険料(月)	2,214	20,946.10	12,000.	43,443.32	1,000,000	0	448 (20.2%)	1,766 (79.8%)	26,259.72	16,902.5			47,186.49
	保険料(年)	2,615	216,674.35	144,000.	305,511.74	5,863,347	0	397 (15.2%)	2,218 (84.8%)	255,456.91	180,000.			316,443.71
Q5-1	高額医療費として、戻ってきた金額は	2,500	124,871.58	0.	288,045.55	5,000,000	0	1,275 (51.0%)	1,225 (49.0%)	254,839.95	144,729.			369,060.81
Q5-2	医療費還付として、戻ってきた税金は	1,993	18,382.78	0.	92,824.45	2,970,000	0	1,520 (76.3%)	473 (23.7%)	77,456.42	30,000.			178,128.44
Q5-3	保険給付金(月)	1,746	98,013.01	0.	409,651.09	6,000,000	0	1,449 (83.0%)	297 (17.0%)	576,197.71	270,000.			843,216.51
	保険給付金(年)	2,379	395,337.63	0.	914,096.63	8,200,000	0	1,358 (57.1%)	1,021 (42.9%)	921,163.78	465,000.			1,299,367.41
Q10-1	年代	4,102	63.17	65.	12.45	94	3							
Q10-2	がんと診断された時期 - "x年前"の回答	4,023	3.55	2.12	4.09	38.50	0.00							

がん患者調査

胃 (505件中)

問番号	内容	すべての回答					"0"					"0"以外					
		件数	平均	中央値	標準偏差	最大値	最小値	回数	割合	平均	中央値	標準偏差	回数	割合	平均	中央値	標準偏差
Q1-2	片道の通院時間	495	56.26	50.	85.90	1,800	5										
Q1-3	往復交通費 - 本人	366	1,721.09	1,000.	2,776.12	35,000	0	16	(4.4%)	1,799.77	1,000.	2,813.81					
	往復交通費 - つきそい	137	1,560.51	1,000.	2,249.99	14,000	0	17	(12.4%)	1,781.58	1,090.	2,320.73					
Q1-4	1ヶ月の通院回数	215	2.05	2.	1.57	10	1										
	1年間の通院回数	357	7.93	4.	8.97	60	0	1	(0.3%)	7.95	4.	8.97					
Q1-5	(病も含め)これまで受診した病院・診療所の数	490	1.84	2.	1.39	24	0	9	(1.9%)	1.87	2.	1.38					
Q1-6	これまで入院した回数	497	1.37	1.	1.04	9	0	17	(3.4%)	1.42	1.	1.02					
Q1-7	昨年1年間の合計入院期間	404	14.06	0.	21.71	120	0	205	(50.7%)	28.55	20.	23.31					
Q4-1	入院分(月)	161	101,637.30	0.	203,337.05	1,700,000	0	84	(52.2%)	212,514.36	100,000.	250,774.13					
	外来分(月)	327	14,063.89	5,000.	23,372.80	226,000	0	53	(16.2%)	16,784.27	6,260.	24,623.10					
	入院分(年)	195	218,077.45	95,153.	311,414.05	2,500,000	0	74	(37.9%)	351,447.13	300,000.	330,780.31					
	外来分(年)	346	58,246.61	28,665.	91,826.93	680,000	0	26	(7.5%)	62,979.15	30,000.	93,910.86					
Q4-2	健康食品・民間療法(月)	305	15,017.23	3,600.	41,922.11	600,000	0	116	(38.0%)	24,234.15	10,000.	51,115.10					
	健康食品・民間療法(年)	318	98,759.73	18,000.	290,979.45	3,336,000	0	129	(40.6%)	166,167.16	60,000.	362,295.62					
Q4-3	その他の支出額(月)	226	21,210.68	0.	115,224.54	1,500,000	0	177	(78.3%)	97,828.86	30,000.	231,818.68					
	その他の支出額(年)	254	36,854.79	0.	93,233.96	600,000	0	178	(70.1%)	123,172.58	60,000.	135,718.47					
Q4-4	保険料(月)	280	22,883.98	13,000.	63,701.30	1,000,000	0	57	(20.4%)	28,733.25	18,640.	70,192.57					
	保険料(年)	328	221,128.45	150,650.	297,053.58	3,099,588	0	50	(15.2%)	260,899.76	199,500.	306,161.98					
Q5-1	高額医療費として、戻ってきた金額	292	63,362.84	0.	135,131.86	690,000	0	190	(65.1%)	181,391.65	140,000.	175,687.38					
Q5-2	医療費還付として、戻ってきた税金	251	10,491.60	0.	41,519.99	338,914	0	214	(85.3%)	71,172.76	31,000.	85,882.40					
Q5-3	保険給付金(月)	229	111,825.45	0.	363,677.02	3,300,000	0	188	(82.1%)	624,586.02	400,000.	646,887.04					
	保険給付金(年)	287	288,397.23	0.	661,485.43	4,500,000	0	188	(65.5%)	836,060.66	585,000.	900,339.26					
Q10-1	年齢	502	64.46	65.	10.46	89	27										
Q10-2	がんと診断された時期 - "x年前"の回答	499	3.08	2.05	3.14	21.50	0.01										

がん患者調査

大腸 (267件中)

問番号	内容	すべての回答						"0"			"0"以外		
		件数	平均	中央値	標準偏差	最大値	最小値		割合	平均	中央値	標準偏差	
Q1-2	片道の通院時間	261	53.32	50.	32.05	200	3						
Q1-3	往復交通費 - 本人	210	1,430.14	720.	3,110.81	35,000	0	24 (11.4%)	1,614.68	870.	3,260.04		
Q1-4	往復交通費 - つきそい	65	1,269.38	720.	2,084.04	13,000	0	10 (15.4%)	1,500.18	880.	2,187.85		
	1ヶ月の通院回数	147	2.31	2.	2.38	25	0	1 (0.7%)	2.32	2.	2.38		
Q1-5	1年間の通院回数	184	11.96	6.	12.86	87	1						
	(現在も含め)これまで受診した病院・診療所の数	262	1.90	2.	0.91	7	0	4 (1.5%)	1.93	2.	0.88		
Q1-6	これまで入院した回数	258	1.85	1.	1.98	20	0	6 (2.3%)	1.90	1.	1.98		
Q1-7	昨年1年間の合計入院期間	210	23.23	13.	37.89	300	0	92 (43.8%)	41.34	30.	42.50		
Q4-1	入院分(月)	96	103,486.35	0.	215,152.75	1,200,000	0	61 (63.5%)	283,848.29	137,860.	275,269.63		
	外来分(月)	180	29,011.08	8,620.	64,691.41	700,000	0	31 (17.2%)	35,046.94	14,080.	69,599.86		
Q4-2	入院分(年)	123	324,025.60	150,000.	396,906.23	2,000,000	0	38 (30.9%)	488,884.11	400,000.	400,049.90		
	外来分(年)	174	137,114.32	48,760.	296,882.45	2,850,000	0	13 (7.5%)	148,185.66	60,000.	305,966.35		
Q4-3	健康食品・民間療法(月)	148	21,690.77	6,000.	43,124.74	250,000	0	50 (33.8%)	32,757.49	15,000.	49,457.80		
	健康食品・民間療法(年)	158	116,577.90	20,000.	225,283.96	1,500,000	0	67 (42.4%)	202,409.98	100,000.	265,983.24		
Q4-4	その他の支出額(月)	104	11,777.25	0.	31,552.84	200,000	0	77 (74.0%)	45,364.22	20,000.	48,074.81		
	その他の支出額(年)	127	50,943.70	0.	136,822.13	900,000	0	80 (63.0%)	137,656.38	50,000.	196,591.14		
Q5-1	保険料(月)	147	21,561.65	12,640.	43,642.65	500,000	0	26 (17.7%)	26,194.74	18,000.	46,825.08		
	保険料(年)	165	264,424.93	167,508.	382,067.56	3,000,000	0	22 (13.3%)	305,105.69	200,000.	394,995.54		
Q5-2	高額医療費として、戻ってきた金額	164	122,425.86	0.	207,331.40	1,018,832	0	85 (51.8%)	254,149.89	230,000.	236,135.03		
Q5-3	医療費還付として、戻ってきた税金	138	26,009.62	0.	72,389.90	580,000	0	97 (70.3%)	87,544.56	40,000.	110,884.34		
Q10-1	保険給付金(月)	110	136,917.73	0.	439,783.80	3,000,000	0	84 (76.4%)	579,267.31	272,500.	749,688.97		
	保険給付金(年)	156	559,100.76	0.	1,100,057.09	6,500,000	0	82 (52.6%)	1,178,644.84	818,925.	1,349,389.92		
Q10-2	年齢	265	65.73	67.	11.18	86	17						
	がんと診断された時期 - "x年前"の回答	258	4.83	2.33	6.11	32.50	0.02						